

令和7年度第2回佐賀市立図書館協議会 議事録

開催日時: 令和8年3月19日(木) 14時00分~15時35分

開催場所: 佐賀市立図書館2階 多目的ホール

出席者: 【委員: 8名】

白根委員(会長)、横山委員(副会長)、荒木委員、太田委員、原田委員
梅崎委員、黒木委員、西郡委員

【事務局: 8名】

八谷館長、増本副館長、江里口サービス一係長、中島サービス二係長
大塚諸富分館長兼川副分館長、宮崎大和分館長、詫間富士分館長兼三瀬分館長
協議会担当 吉田

【傍聴者: 3名】

1. 館長挨拶

2. 委員紹介・職員紹介

3. 協議会

(1) 会長・副会長選出

・推薦により会長は白根委員、立候補により副会長は横山委員に決定した。

(2) 会長挨拶

(3) 議事

①「第3次佐賀市立図書館サービス計画」の一部改訂について

(事務局)

別紙1『第3次佐賀市立図書館サービス計画(改訂版)「概要版」』

- ・「図書館サービス計画」(以下、サービス計画)は、図書館法及び文科省の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の趣旨に基づき策定するもので、社会変化や地域の実情に合わせて、図書館の運営指針、事業の方向性、数値目標を定めたもの。
- ・現在の第3次計画は計画期間が令和3年度から令和7年度の5年間。
- ・本来は令和8年度からは新たに第4次計画を策定して、図書館運営に取り組むところだが、本館の大規模改修工事に伴う休館期間と重なるため。
- ・リニューアル後のサービスや施策等も反映させる必要があると考えるため、第4次計画は本館のリニューアルにあわせて策定することとして、それまでは、現行の第3次計画の一部改訂により、サービスを継続したい。

別紙2「第3次佐賀市立図書館サービス計画(改訂版)の主な修正点」

- ・主な修正点は「計画期間」と「上位計画」を改めたこと、実績値などの「データ」やイベント情報を直近のものとしたこと、「電子図書館サービス」を具体例として記載したこと、「団体名」や

文言の表現を修正したこと。

- ・成果指標については、さまざまな施策の評価の中心となる本館が工事期間中は休館するため、その間、事業の多くを休止することとなり、成果指標の目標値の設定が困難となることから、改訂版においては、目標値は設定せず、直近の実績を参考値としたい。

【質疑・意見】

(委員)

- ・サービス計画の改定については、①大規模改修のスケジュール、②ポイントを絞っていて読みやすく分かりやすい、③内容について言葉の注釈も親切丁寧、という理由から賛成である。
- ・P17 貸出サービスの利用者の割合はどのように算出しているか。

(事務局)

- ・図書館への来館者数と資料の貸出件数を基に算出している。

②令和8年度佐賀市立図書館事業計画について

冊子「佐賀市立図書館事業計画」

(事務局)

- ・(P1) 図書館のサービス満足度、令和8年度の重点事業、事業実施に係る留意点を記載している。
- ・(P2) 事業計画とサービス計画の関係性、事業を進める体制を示している。
- ・(P7) サービス計画の基本目標に基づき、計画期間に取り組む重点事業を記載している。
- ・令和8年度の重点事業は
 - 「図書館と接点がない保護者に興味を持ってもらう取組」
 - 「本館大規模改修事業」(実施設計)
 - 「佐賀ライブラリーパーク」管理・運営方針の策定」

(事務局)

○「図書館と接点がない保護者に興味を持ってもらう取組」(P8)

- ・子どもたちの図書館利用を促すためには、周囲の大人たちへの図書館についての情報を周知することが重要。
- ・子育て世代に向けて佐賀市公式LINE等を用いて、おはなし会や新着絵本の情報を案内している。
- ・あかちゃんえほんのガイドブックについては、館内で配布のほか、こども健康課の事業「乳児家庭全戸訪問」の際にも配布してもらっている。
- ・本日、こども健康課主催の母子保健推進員研修会に児童サービス担当者が参加し、絵本と読み語り等について説明をしている。このように、さまざまな形で取り組みを行いたい。

(事務局)

○「図書館本館大規模改修事業」(P9)

- ・図書館本館は、平成8年の開館から30年を迎え、大規模な改修が必要。
- ・図書館の役割も、単に本を貸し出す時代から、家庭、職場以外のゆっくりと過ごせる第3の場所、いわゆるサードプレイスとしての役割がこれまで以上に求められている。
- ・毎年行う利用者満足度調査では、令和6年度の満足度は93.9%と高い評価を得ているが、これは図書館をよく利用する方の意見と認識している。
- ・大規模改修の基本構想・基本計画を策定する際に行ったアンケート調査では、定期的な図書館利用者は3割で、年に数回程度や、ほぼ利用しないという市民が7割。
- ・現在の利用者の満足度を保ちつつ、あまり図書館を利用されていない7割の方が「図書館に行ってみよう」と思えるような新しい図書館を目指す。
- ・「だれもが自由に、のびのびと、気持ちのよい時間を過ごせる」、いわゆる公園のような場所となるように「ライブラリーパーク」というコンセプトを掲げて、令和5年度から事業に取り組んでいる。
- ・令和5年度から6年度にかけて、改修工事の指針となる「基本構想・基本計画」を策定し、7年度には工事の基礎となる「基本設計」に取り組んだ。
- ・8年度は詳細な内容を詰めていく実施設計、事務所の仮移転の準備等に取り組む。
- ・物価高や人材不足などによる工事費の高騰が予見され、改修工事の延伸や見直しを懸念している。

(事務局)

○「佐賀ライブラリーパーク」管理・運営方針の策定」(PI0)

- ・これまであまり図書館を利用していない7割の市民にも「図書館に行ってみよう」と思ってもらえるような、新しい図書館にするには、単に建物を改修するだけでなく、提供するサービスや運営内容のアップデートが重要と考える。
- ・工事期間中やリニューアル後の施設の管理運営の基本的な方向性に関する方針の策定に取り組む。
- ・建物の基本設計を行う中で、この方針の検討もあわせて検討を行い、素案を策定した。
- ・8年度はこの検討に基づく素案のブラッシュアップと工事期間中のサービス体制の構築に取り組む。
- ・事業を進める上での留意点は、適切な人員配置と労働環境の確保に努めることや、周辺環境との調和、デジタル機器の活用の検討。

【質疑・意見】

(委員)

- ・保護者と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組に関して「保護者」だけでなく、これから保護者になる「プレパパ・プレママ」たちのような方々にも取り組みができるとうい。
- ・一覧表でおすすめの本を紹介するのもよいと思うが、実際のおすすめの本をプレゼントする取組みも良かったと思う。

(事務局)

・本のプレゼントはこども健康課で実施していた事業であるが、要望が多かった物へ見直しを行った結果、内容を変更したと聞いている。今後も子育て部門と連携して取り組んでいきたい。

(委員)

・設計にかかわった方の思いなども知りたい。30周年の記念事業の一環として建設にかかわった企業の講演などを実施することは可能か。

(委員)

・高校生の螺旋階段をつくるというアイデアを取り入れたと記者会見で話されていたが、こういう意見を設計に組み込んでいく過程を聞きたいということではないか。

(会長)

・事業者の思いも伺いたければ、シンポジウムみたいな形で新しい図書館についてお話しできればいいのではないか。

(事務局)

・新しい図書館に興味を持ってもらう取組として、大変面白いと思う。

(事務局)

・螺旋階段は佐賀新聞社主催の「さが未来発見塾」に参加した高校生の皆さんが議論して、理想の図書館を市長にプレゼンテーションされ、それを採用した。他にも、ワークショップを開いて市民のいろんな意見や、障がいを持つ当事者や外国籍の方などの意見を基本設計には取り込んだ。

(事務局)

・もちろん設計の方のアドバイスもあるが、有名な建築士の方に構想をしてもらうというよりは、市民の皆さんの意見や図書館の意見など、様々な意見を総合して設計してもらっている。

(委員)

・30周年記念事業で未来のカタチを示しながら大規模改修に入るというスケジュールで進めることができればスムーズではないだろうか。

・管理・運営方針はどのような形で進めていくのか。外部の意見も取り入れていくか。

(事務局)

・管理・運営方針というのは、図書館の営業時間や建物の管理体制などのいわゆる内部規程を指しており、利用者増加等を目指す取り組みは次期サービス計画で定めていくことになると考えている。

・ハード面の管理・運営方針とソフト面のサービス計画は両輪と考えており、次期サービス計画の策定においては、市民の意見を伺いながら定めていきたい。

③図書館本館大規模改修事業について

(事務局)

○新しい図書館について

・1階は、公園や外部と隣接するため、のびのびと過ごせるサードプレイス的な場所で、おしゃべりが許容される空間。

- ・2階は、集中して本と向き合える静かな空間とし、1階と2階は、高校生のアイデアから生まれた、らせん状の階段がつなく。
- ・北側の駐車場との出入りをスムーズにするために、建物北側に新たにエントランスを設ける。
- ・公園の出入口を移設して、公園との一体的な利用を行いやすくする。
- ・ゆっくり過ごせるカフェスペースや児童コーナー、南側に、新しい体験につながるイベントスペースやギャラリーを設けて、これまで図書館に足を運ばなかった人も立ち寄りたくなる場所となるよう検討している。
- ・2階は、外を眺めてゆっくり読書を楽しんだり、勉強やテレワークに集中したり、それぞれが自分だけの時間を過ごせる、静かな空間としたい。
- ・基本設計においては、障がいのある当事者や外国籍の方などの意見も聞きながら、市民の皆さんから生まれた夢やアイデアをカタチにしている。

○図書館本館大規模改修の今後の進め方

- ・令和8年度は、基本設計の内容を詳細に詰めていく実施設計に取り組む。
- ・工事は令和9年度から10年度中を予定。
- ・工事期間中は、本館所蔵の全ての資料を仮移転させる必要があり休館する。
- ・工事が完了次第、仮移転先から資料を図書館本館に戻す作業を行い、その後開館の予定。
- ・本館休館中も分館（大和・富士・三瀬・諸富・川副・東与賀・久保田）、分室（開成・金立・鍋島・高木瀬・本庄・巨勢）、自動車図書館、電子図書館は変わりなく利用可能。
- ・市民の期待に応えられるよう、「図書館なのに公園みたいに過ごせる場所」、そしてだれもが自由に、のびのびと、気持ちの良い時間を過ごせる場所「サガライブラリーパーク」の実現に向けて取り組む。

【質疑・意見】

（委員）

- ・子どもが騒ぐのでなかなか図書館内へ入ることを遠慮してしまうような保護者も参加できるような、屋外での読み聞かせのイベントや、イベントが実施できるようなエリアがあれば集客につながると思う。

（委員）

- ・新しい図書館は、活気あふれる空間ができることに伴って、現状の利用者にとっては迷惑のかかる姿となる恐れもある。10割全てが満足する管理・運営方針を作るのではなく、5～6割を目標にしたものでもよいかもしれない。
- ・カフェスペースとWi-Fiと電源が充実することは、大いに利用者増加につながると思われる。

（事務局）

- ・現在の図書館利用者からは、現状の提供サービスに大変満足頂いている。
- ・現在の利用者の皆さんの満足度も引き続き高めていきたいと考えており、2階は景色が良く開放的な読書空間を目指している。

(委員)

・来てもらえれば、サービスの良さはわかってもらえると思う。

(委員)

・読書スペースが増えるようだが、展示やイベントの開催ができるスペースがあるのか。
・テレビ報道にあったとおり、福岡の図書館で大きな事件も起きている。エントランスが増えると危険も増えると思うが安全対策が必要ではないか。

(事務局)

・展示については、一カ所ではなく、各所でできるようにしたい。
・安全面について、現在警備員の職員とで巡回を強化して実施している。新しい図書館においても防犯カメラの設置など安全対策に努めていく。

(委員)

・県外在住者などからも利用したいという希望を聞くが、利用者登録は出来ないか。

(事務局)

・佐賀中部広域圏連合の市町に居住、佐賀市内に通勤、通学する方など、市民以外も登録出来るようにしている。
・図書館は市税で運営しており、地元の図書館を利用して、その利用活性化に寄与していただきたい。

(会長)

・休館中のレファレンス機能はどうなるのか

(事務局)

・レファレンス機能の配置については検討中。

(事務局)

・次回の図書館協議会は、令和8年10月頃に予定している。

※資料の修正:冊子「佐賀市立図書館事業計画」P10

「成果」の「R7年度実績」欄に記載の数値は誤記のため削除